



「大鳴門橋」と「鳴門の渦潮」

30年ほど前に、主人の転勤で四国に行ったとき、ドライブで大鳴門橋を渡りました。そこで大迫力の渦潮を見たときの思い出の写真です。

●撮影：小野美代子さん

(いきいきサロン・ほのぼのみのおか)

介護施設で働いていた知人から、「60代の女性入居者が『男性介護士の入浴介助は嫌』と泣いて拒否し、それ以来、入居者の意思を確認するようになった。ただ、認知症の入居者の中には介護士の性別に関係なく、服を脱ぐことに抵抗して暴力を振るわれたこともあり入浴するまでが大変だった」という話を聞きました。

入居者すべての尊厳やプライバシーの尊重と介護の厳しい現実（介護士不足や認知症の人への対応等）との両立をどう考えるのか、難しい問題だと思いました。

【入浴介助】



神戸東部支部支部長 氏家 都子

【介護施設の実情を知る】講座開催 《自分が望む暮らし方と施設とのマッチング》

10/11(火)午前中に、灘区文化センターにて、株式会社エイコウ シニアライフサポートセンター・代表取締役・西谷佳子さんを講師にお招きし、「介護施設の実情を知る」と題して、介護施設の種類と入居条件、更にサービス内容と費用等について詳しく教えていただきました。西谷さんは医療機関やケアマネジャー等からご利用者と介護施設とのマッチングを数多く手掛けておられます。その経験をもとに参加者の質問にも丁寧に的確にお答えいただき、大変有意義な講座となりました。



参加者からは「いざ介護施設へ入居することになったとき、自分が何も知らないと不安だと思い受講しました。今日は知らないことが色々学べてとても参考になりました」との感想をいただきました。

【投稿】『組合への質問や要望』『ご自身の作品や写真、活動紹介』を募集します！

- 【1】冬の風景写真：①写真、①撮影者氏名、③写真説明 100字以内（撮影場所・名称・撮影日等）
- 【2】ご自身のふだんの活動や趣味・作品等をニュースに投稿しませんか？（写真、文 200字前後）
- 【3】また、組合や神戸東部支部、六甲事業所への質問や要望・意見をお聞かせください。（紙面の都合上、文章は200字以内でお願いします）

★投稿の宛先は、『神戸東部支部ニュース投稿の係』で、12月16日（金）迄

◆メール：rokko-h.7070@kourei-h.org ◆FAX：078-856-7056

◆はがき・お手紙は六甲事業所へ（※事業所の住所は、おもて面の右上に記載しています）



投稿用メールQRコード

多世代が和気あいあいサロン『ほのぼの住吉』

ほのぼの住吉は、東灘区住吉地域福祉センターにて毎週月曜日に活動しています。73歳から92歳の幅広い年代で24の方が登録されており、毎週賑やかに通ってこられます。



介護予防の講座や教室では専門職（ナース、理学療法士、歯科衛生士等）の先生によるお話や体操、音楽療法などをおこなっています。

手作りのゲームや小物作り、ハンドベル、絵画教室など毎回違う内容をバランスよく楽しみながら、和気あいあいと一日を過ごしています。（ほのぼの住吉 尾西敦子）

新規体験者（無料）大歓迎！待っています～す♡

連絡先：080-1519-9208（エリアマネージャー 佐藤博美）

地域拠点型一般介護予防事業 （神戸市委託事業）

- ▶ほのぼの六甲（灘区神前町 3-10-7「市営神前住宅集会所」）
- ▶いきいき六甲（灘区六甲町 5-7-1「市営六甲住宅集会所」）
- ▶ほのぼのみのおか（灘区国玉通 3-1-5「五毛会館」）
- ▶ほのぼの住吉（①東灘区住吉宮町 3-2-18「住吉地域福祉センター」②東灘区住吉宮町 2-14「フレール住吉宮町住宅集会所」）
- ▶ほのぼの魚崎（東灘区魚崎南町 5-10-7「県営魚崎南高層住宅集会所」）
- ▶ほのぼのみかげ（東灘区御影 2-28-13「御影北地域福祉センター」）
- ▶楽遊会（神戸市東灘区御影石町 4-4-1「御影公会堂」）

笑顔いっぱいのお祭り

ほほえみの里管理者 望月優美

コロナ禍の収束はまだ見えませんが、毎年恒例の秋祭りを行いました。今年は、9/20-21の火曜日と水曜日の2日間に行いました。秋祭りの前日に大型台風が神戸に接近してきていたので、何も準備できないまま閉所し、当日に職員・スタッフが少し早めに出勤しました。

来所されたご利用者に、出し物の説明を書いた「秋祭りカード」をお渡しし、名前を書いて頂いてからスタート！出し物は、金魚すくい・ヨーヨーつり、的あて・ボール送りの4種類です。「何から始めましょうか？」と、お一人ずつ順番に進めていきました。

金魚すくいでは、ポイを持ち、「みんな（金魚）元気やからなかなかすくわれへんなあ」「本物の金魚や！」と、水槽の中の金魚のすくい方を真剣に考えて皆さん熱中！

昼食は「たこ焼き」を準備し、ご利用者も一緒に焼いて頂きました。「もう焼けたかな？」「もう少し待った方がいいかな？」とワイワイ話をしながら焼いて下さいました。この日ずっと、たこ焼きを焼いて下さっていた方もおられました。午後のじゃんけん大会も大いに盛り上がりしました。

バタバタな準備となりましたが、ご利用者が楽しんで下さって、いい「秋祭り」になったと思えました。



組合では、
6月25日～
8月31日まで
の期間に、
「ウクライナ

支援募金」活動に取り組みました。六甲事業所でも募金箱をデイサービスほほえみの里の玄関に設置し募りました。

ほほえみの里に通っておられるご利用者や職員、ケアステーション六甲のご利用者や職員からたくさん募金があり、期間終了後の募金箱の集計では1万7千151円となりました。

この募金活動に賛同し、ご協力をいただいた皆さま、ありがとうございました。そして、一刻も早く戦争が終息し、全ての人に平穏な日々が戻ることを心から願っています。



高齢者生協
ケアステーション
六甲一同

六甲事業所
（事業：管理者名）

- 事業所所長：松下
- デイスペースほほえみの里 078-858-8818（通所：望月）
- ケアステーション六甲 078-856-7070（訪問：古池）、078-858-8829（居宅：湧川）